

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	04	02	02	0401	清掃センター改修事業
総合計画	分野	暮らし			
	政策	2-1	環境の保全		
	施策	4	循環型社会の構築		
目的	平成27年の焼却終了に向けて、清掃センターの改修を行う。				
対象	清掃センター				
意図	焼却施設を閉鎖し、残る粗大ごみ処理施設及びリサイクル施設を効率的に使用する。				
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること				
清掃センター改修事業 ○排水設備 雑排水処理用浄化槽の設置					
市民参画の有無	[対象外]				
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会		事業協力・協定	
	後援・協賛	補助・助成		委託	
活動指標 (上記「事業概要」に対応)	単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
① 焼却施設閉鎖に伴う改修事業	カ所	計画		1	
		実績		1	
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)	単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①		目標			
		実績			
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			
成果指標の達成度	目標値より高い	概ね目標値どおり	目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
(This area is currently blank in the image)		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	平成27年に広域の焼却施設が完成することから、既存の焼却施設を適正に閉鎖しなければならない。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	焼却施設の閉鎖に向けて、計画的に進める。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	妥当である。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	工事の内容からみて、適正である。
総合評価 …上記評価結果の総括 ・ごみの適正排出・発生抑制に向けて、家庭系・事業系ともに啓発を強化する。		

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	04	02	02	0401	清掃センター改修事業

単位：千円

		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			9,072		9,072
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他		9,072		9,072
	一般財源				

事業期間	単年度繰返	<input checked="" type="radio"/> 期間限定	[平成 26 年度 ~ 平成 27 年度]
------	-------	---------------------------------------	-----------------------

部経営方針における目標
豊かな自然と生活環境を守りきらめくイーハトーブはなまきをつくる

事業開始の背景・経緯
平成27年の広域による焼却施設の稼働により、不要になる既存の焼却施設を閉鎖し、残る施設を有効に使用する。

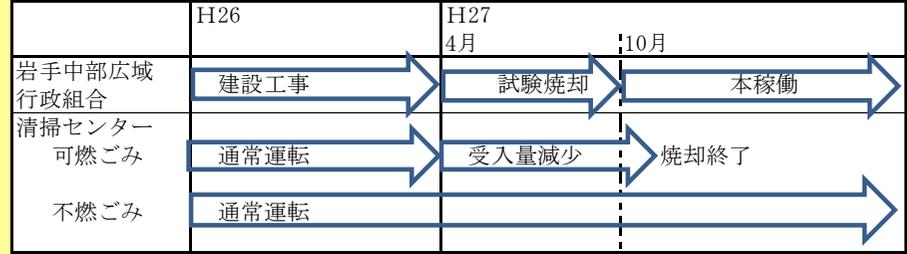
事業概要

清掃センター改修事業
○排水設備 雑排水処理用浄化槽の設置

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

担当部署 部名 市民生活部 課名 清掃センター 担当係長 高橋秀幸 内線 31-2114 (単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



○平成26年度浄化槽設置工事 9,072千円
・清掃センター排水処理施設より排出されるすべての排水
↓
凝集沈殿、砂ろ過後、ガス冷却室用噴射水として再利用
↓
平成27年4月より広域で建設中の焼却炉がテスト運転予定
↓
当施設への搬入ごみ減少により、排水処理後の水が処理不能となるため改修工事に先駆け浄化槽を設置し、施設を効率的に使用する。

○ごみ処理広域化に係る施設改修計画

番号	設備名	工事内容	工事費(千円)	26年度	27年度
1	可燃物受入搬送貯留搬出設備	破碎、リサイクル可燃ごみ搬送、搬出設備設置	26,400		コンベア改造設置(11,700) 回転ドラム設置(14,700) 8月～10月中旬
2	高圧重配電設備	既存受配電設備改修、整備	35,646		構内配電線路設備(3,136) 高圧受変電設備(32,510) 5月～10月中旬
3	プラットホーム封鎖等	ごみピット封鎖 汚水処理	3,058		改修、ピット洗浄 10月～12月中旬
4	給水設備	上水道給水の加圧 給水へ切替	26,958		給水設備工事、給水切替 高区タンク閉鎖 4月～9月
5	給湯、衛生設備	焼却炉温水を ボイラーに変更	18,454		改修工事(18,454) 4月～10月
6	排水設備	雑排水処理用 浄化槽の設置	9,072	浄化槽設置、排水 管工事 9月～3月	
7	空調設備	焼却炉温水による FF式暖房に変更	4,457		改修工事 4月～9月

124,045